

平成29年2月6日

各 位

上場会社名 株式会社 ホープ
 代表者 代表取締役社長 政場 秀
 (コード番号 1382)
 問合せ先責任者 取締役経営管理部長 吉田 周史
 (TEL 0166-83-3555)

業績及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年8月10日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,984	155	155	135	177.62
今回修正予想(B)	2,165	△37	△32	△38	△50.70
増減額(B-A)	△819	△192	△188	△173	
増減率(%)	△27.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	2,545	43	50	3	5.10

平成29年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,040	115	116	99	130.25
今回修正予想(B)	4,220	△76	△72	△80	△105.25
増減額(B-A)	△819	△192	△188	△179	
増減率(%)	△16.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	4,485	△68	△60	△110	△144.55

平成29年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,669	150	151	132	174.33
今回修正予想(B)	1,927	△52	△46	19	25.35
増減額(B-A)	△741	△203	△197	△113	
増減率(%)	△27.8	—	—	△85.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	1,701	△18	10	△14	△19.64

平成29年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,672	98	99	84	110.93
今回修正予想(B)	3,930	△104	△98	△34	△45.23
増減額(B-A)	△741	△203	△197	△118	
増減率(%)	△15.9	—	—	—	

(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	2,996	△154	△110	△136	△178.55
-------------------------	-------	------	------	------	---------

修正の理由

(第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業のいちご果実販売において、自社品種の出荷量が9月に落ち込んだことに加え、10,11月も9月の全国的な日照不足の影響で出荷数量が回復しなかったことにより販売数量が抑制され、予定していた売上高、利益を確保することができませんでした。

また、最需要期となるクリスマス期においては、促成いちご(「とちおとめ」など冬春期に流通するいちご)の定植時期となる9月の極端な日照不足が株の初期生育に影響し、市場への入荷量が例年に比べ減少したため、いちご市場相場価格は高値で推移いたしました。クリスマス期以降も小玉サイズを中心に高値が続いたことで、固定価格での販売先に対する利益が、当初の予定と比較し大幅に下回る結果となりました。

さらに、馬鈴薯事業において、昨年4月に発生した熊本地震の影響、北海道において8月に複数の台風が上陸した影響を受け、主な馬鈴薯の仕入産地で生産量が減少し、予定していた数量の馬鈴薯の仕入を行うことができず、売上高、利益ともに予定を下回ることとなりました。

以上の理由により、第2四半期累計期間連結業績予想を修正いたします。

(通期連結業績予想修正の理由)

主力であるいちご果実・青果事業においては、いちご果実の最需要期であります12月のクリスマスの影響により第2四半期連結会計期間までの仕入及び販売が、他の四半期連結会計期間に比べ多くなる季節的変動があります。また、馬鈴薯事業において販売の中心となる春作種馬鈴薯は、その植付時期の影響で販売時期が第2四半期連結会計期間に集中する傾向にあります。このため、第2四半期までの業績を踏まえて下半期の見通しを勘案した結果、第2四半期までのいちご果実・青果事業の落ち込みをカバーするには至らないと予想されることから、連結の業績予想を上記のとおり修正いたします。

(第2四半期累計期間個別業績予想修正の理由)

第2四半期累計期間連結業績予想修正の理由と同様であります。

(通期個別業績予想修正の理由)

通期連結業績予想修正の理由と同様であります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年8月10日発表)	—	0.00	—	40.00	40.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成28年6月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

当社は、利益配分について、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定配当を継続、維持しつつ業績を考慮して、積極的な配当政策を行うこととしております。

しかしながら、上記の業績予想修正を踏まえ、誠に遺憾ではありますが、期末配当につきましては当初予想の1株当たり40円から無配とさせていただきます。

(注)上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上